

# 議会だより

令和7年  
12月1日  
発行

発行／東庄町議会

〒289-0692 千葉県香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 6080

第194号

## にぎわいの拠点づくり



## チャレンジ続ける横瀬町を視察

### Contents

- 9月定例会…………… 2
- 委員会報告…………… 4
- 一般質問(町の考えを問う) …… 8
- 中学生議会…………… 12
- 議員活動報告…………… 14

自分のまちは自分達でつくるという大切な姿勢を学んだ「日本一チャレンジする町」「日本一チャレンジを応援する町」を掲げる埼玉県横瀬町での視察。東庄町は、どんな日本一を掲げてまちづくりをしてゆきましようか。



町議会

# 東庄町 いじめ問題対策連絡協議会等 設置に関する条例を制定

## 9月 定例会

### 令和6年度決算 全8会計を認定

#### 定例会の経過概要

9月定例会初日の9日には、一般質問を3人の議員が行いました。

#### 【一般質問8ページ】

その後、東庄町議会改革に関する調査研究について、議会改革特別委員会委員長から報告がありました。

#### 【調査研究報告3ページ】

続いて、選挙管理委員会委員及び補充員選挙が行われ、指名推薦により委員4名、補充員4名が決まりました。

議案は、議員発議による条例及び会議規則の一部改正2件、教育委員の任命1件、条例の制定及び一部改正3件、計画の変更1件、令和7年度一般会計補正予算等6件の議案が提案され、慎重審議の結果、全案件を原案のとおり同意・可決しました。



▲平成7年（町制施行40周年）に制定された町の鳥「コジュリン」利根川に沿った芦原で見られる珍しい鳥。ホオジロの仲間。



次に、債権放棄の報告1件を受けました。

#### 【議決結果6ページ】

2日目の10日には、令和6年度の8会計決算認定が順次上程され、予算決算常任委員会に審査を付託しました。

11日、12日、16日には予算決算常任委員会を開催し、令和6年度の各会計決算について詳細な審査を行いました。

#### 【委員会報告4ページ】

最終日の19日には、令和6年度各会計決算について、予算決算常任委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、各会計決算とも認定しました。

#### 【議決結果7ページ】

## 議会改革特別委員会

### 調査研究報告

令和6年3月15日に設置された東庄町議会改革特別委員会は、計9回の委員会を行い、令和7年8月5日開催の第9回委員会で結論を得ました。

**議員の成り手不足解消のために  
議員定数・議員報酬・期末手当を協議**

#### 《協議の背景》

全国町村議会議長会で令和6年7月10日に決定された以下の決議内容により協議を開始しました。

#### 決議内容

- ・町村議会議員の活動量は増加しているが、議員報酬の水準は30年以上ほぼ変化がない。
- ・市議会議員と比べ町村議員の報酬は著しく低い。
- ・町村議会議員の成り手不足が深刻化しているが、上記が要因の一つと考えられる。

#### 【結論】

##### ◆議員定数 現状の14名を維持

##### 〈意見〉

- ・人口減だけで議員定数を考えるのではなく、議会は何をすべきか考えるべき。
- ・県内で議員が12名以下なのは人口1万人未満の自治体のみ。見直しは時期尚早である。

##### ◆報酬改定 見送り

##### 〈意見〉

- ・香取郡内議会で足並みを揃えたい。

##### ◆期末手当 増額を町に要望

##### 〈意見〉

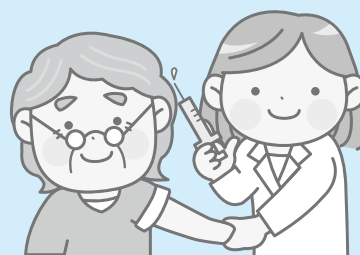
- ・当議会は県内町村と比較して期末手当が低い水準のため、郡内議会並みに処遇改善を行い、幅広い世代の参加を図りたい。

議会・委員会の維持向上、民意を反映させる議会の議員数について、充実した議員活動を行うという観点から協議した結果、全員賛成により、東庄町議会の議員定数は削減せず、現行のままで活動をより深めていくべきものと決定しました。報酬改定は見送り、期末手当増額についての予算確保を町に要望することとしました。

## 一般会計補正予算

### 带状疱疹ワクチン 接種費用助成

令和7年4月から带状疱疹ワクチンの定期接種が始まったことにより、接種費用の町助成額分を増額補正



#### 《带状疱疹ワクチン》

- ・原則として65、70、75、80、85、90、95、100歳になる方が対象
- ・今年度分は町内対象者に通知済み
- ・定期接種は一人1回で希望者のみ

## 東庄中 安全対策

窓に転落防止用サブロック取付



## ふれあい交流センター

雨漏り修繕



## 創業促進支援事業 補助金

申請者増加により予算額を補正

## 予算決算常任委員会

適正かつ効果的に  
町のお金は使われたか

予算決算常任委員会における質疑、意見等  
の一部を要約してお伝えします。

## (一般会計)

## 総務費

質 広報印刷費が前年より増えている理由は。

答 昨今の物価高騰の影響によるものです。

質 コンビニ交付システムの利用者はどれくらいか。

答 令和6年度のコンビニ交付は、住民票727枚、窓口交付を含めた全体の19・7%、印鑑証明647枚、全体の20・3%となっており、利用率は上がっています。

質 地域おこし協力隊報償費と補助金の内容は。

答 報償費は月額26万6千円、補助金は、家賃や車両の借り上げ料、燃料費等の活動に基づいて補助し、令和6年度は2名の方に支払っています。

## 民生費

質 地域子育て支援拠点事業の委託料と補助金の違いは。

答 委託料は、公設民営で委託している笹川中央保育園の「スマイル」分、補助金は、民営で運営している神代保育園の「なかよしひろば」分です。

質 障害者グループホーム運営費補助金が昨年度より倍増している理由は。

答 運営費補助金は、施設への補助金で、今まで利用が無かった施設が増えたことによるものです。

## 農林水産業費

質 土地改良施設維持管理適正化事業補助金が予算額より増額している要因は。

答 昨今の物価高騰の影響によるものです。

## 土木費

質 50万円以上の町道改良工事に神代地区がない理由は。

答 令和6年度はありませんでしたが、町道の状況を鑑みて検討していきます。

## 財産に関する調査

質 公有財産の山林は町で管理しているのか。

答 町有地ですので町が管理しています。

## (国民健康保険特別会計)

質 国民健康保険税の収入未済額が多い理由は。

答 世帯の状況を考慮しながら徴収しており、今後も未納額の縮減に努めてまいります。

質 東庄町の一人当たりの総医療費は、県下で一番低かったと思うが現状は。

答 令和2年度までは4年間、県内54市町村で、東庄町は一人当たりの総医療費額が最も少ない結果でした。その後、被保険者数の減少や令和3年度から5年度まではコロナの影響で変動がありました。

## 東庄町財政状況

財政力指数 0.420 (R5 0.414)  
数値が高いほど自主財源の割合が高く財源に余裕がある

経常収支比率 92.7% (R5 86.97%)  
数値が低いほど財政の弾力性が高く余力がある

町税徴収率 96.6% (R5 96.27%)  
課税額に対する納付金の割合

令和6年度 決算概況  
監査委員意見

人件費を抑え、設備投資を最小限に留めてきた健全な安定運営であるが、今後、大規模な施設整備を実施する場合は、厳しい財政運営を迫られることも考えられる。地方交付税の財源確保に努め、国・県の交付金や補助金を有効に活用されたい。また、町の将来を見据えた長期的な計画を立て、老朽化する町内施設の長寿命化を図り、町民が必要とする事業を限りある財源で適正に実施されることを望む。

一人当たりの総医療費の額は県内で低い方となっております、令和6年度は暫定37位でした。

### （食肉センター特別会計）

質 搬入業者が1件減った理由は。

答 小型車で搬入していた業者が小型車を廃車したため、所有する大型車では搬入経路が確保できないことによりです。

### （訪問看護ステーション特別会計）

質 利用者数は増えているのか。

答 令和4年度延件数1441件、延人数214人、令和5年度延件数1815件、延人数286人、令和6年度延件数2432件、延人数365人で、着実に増えています。

### （介護保険特別会計）

質 支えあいサロン運営費補助金は月に3千円を補助するものか。

答 ご質問のとおりです。

### （水道事業会計）

質 修繕引当金の取り崩し内容と要件は満たしているか。

答 配水管の漏水による小規模な修繕で、要件は満たしています。

質 耐用年数が過ぎた配水管はどのくらいあるか。耐用年数が過ぎたもので漏水は起こっているのか。

答 耐用年数を過ぎた配水管は、130kmあります。配水管は、耐用年数を過ぎたからすぐに使えなくなるとか破裂してしまうというようなものではないので、様子を見ながら順次直していく計画です。

### （東庄病院事業会計）

質 介護医療院の収支は。

答 介護医療院に関する福祉サービス収支は、約5900万円の損失となっています。

質 介護医療院は病院経営にどのよう貢献しているのか。

答 介護医療院は「終の棲家」として運営しており、病床・入所利用率が向上していますので、引き続き経営向上に努めます。



質 過年度損益修正益の内容は。

答 物価高騰支援事業補助金です。

以上のような質疑・意見等が交わされ、当委員会に付託された令和6年度会計決算認定は、それぞれ採択した結果、決算書のとおり認定すべきものとすることに決定しました。

## 東庄病院事業会計

町からの繰入金 4 億 900 万円  
前年度比 4,797 万円の増

収益的収支は6,399万円の黒字だが、町からの繰入金が増加傾向である。病床・入所利用率は65.9%で、昨年度と比較して4.8ポイントの増となり、令和6年4月に開設した介護医療院開設に伴う努力が感じられる。地域医療の砦として、医師確保に努め、施設の延命と事業の継続に引き続き努められたい。

## 水道事業会計

年度末給水戸数 3,989 戸  
給水人口 10,860 人  
年間有収水量 154 万 6,881 m<sup>3</sup>

収益的収支は4,166万円と黒字決算を維持しているが、給水原価が251.44円、供給単価は222.14円で、給水にかかる費用は、水道料金収入以外の町県からの補助金で賄われている状況である。耐用年数を経過した施設の維持管理費や更新工事を考慮すると、据え置きとしてきた水道料金の見直しが必要な時期と思われる。

## 9月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=—  
(議長は、採決に加わりません)

議案 番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決 結果	海 宝 和 宏	渡 邊 幸 江	前 田 君 江	岩 井 弘 晃	越 川 良 男	柳 堀 忠	桜 井 莊 一	宮 澤 健	大 網 正 敏	佐 久 間 義 房	高 木 武 男	鈴木 正 昭	山 崎 ひろ み	板 寺 正 範
発 議 第 3 号	東庄町議会委員会条例の一部改正…オンラインによる方法を可能とする規定を加え、関連する手続きのオンライン化に対応する改正と所要の規定の整備をするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
発 議 第 4 号	東庄町議会会議規則の一部改正…オンラインによる方法を可能とする規定を加え、関連する手続きのオンライン化に対応する改正と現在の社会情勢に照らした古い文言の見直しなど所要の規定整備をするもの。	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
同 意 第13号	教育委員の任命…任期満了に伴い、引き続き秋元悦子氏の任命につき、議会の同意を求めるもの。	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第36号	東庄町いじめ問題対策連絡協議会等設置に関する条例の制定…いじめ防止対策推進法に基づき各関係機関が連携し、いじめ対策を総合的かつ継続的に推進するための体制を確立するために制定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第37号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正…常勤職員等の特例として定めている報酬を支給しない常勤職員について新たに県費負担職員を追加するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第38号	職員の育児休業等に関する条例及び東庄町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正…国家公務員の仕事と生活の両立支援の拡充に関わる法改正が行われることに伴い、国の規定に準じて所用の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第39号	東庄町過疎地域持続的発展計画の変更…事業内容に変更が生じたため、関係法律の規定に基づき議会の議決を求めるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第40号	一般会計補正予算（第3号）…地域公共交通の本格運用に伴う運行委託料、定額減税不足給付金事業、带状疱疹ワクチン接種の増額補正など合計2億939万1千円を追加し、補正後の予算総額を70億1,130万3千円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第41号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）…職員の人事異動に伴う人件費等の減額をするもので128万円を減額し、補正後の予算総額を16億3,026万1千円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第42号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）…子ども・子育て支援金制度の施行準備に伴うシステム改修委託料を新規計上するもので16万5千円を増額し、補正後の予算総額を2億2,536万9千円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

## 9月定例会上程議案等議決結果

賛成＝○ 反対＝× 議長＝－  
(議長は、採決に加わりません)

議案 番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決 結果	海 宝 和 宏	渡 邊 幸 江	前 田 君 江	岩 井 弘 晃	越 川 良 男	柳 堀 忠	桜 井 莊 一	宮 澤 健	大 網 正 敏	佐 久 間 義 房	高 木 武 男	鈴木 正 昭	山 崎 ひろ み	板 寺 正 範
議 案 第43号	訪問看護ステーション特別会計補正予算（第2号）…職員の育児休業取得に伴い事業継続するための新規職員採用による人件費の増額をするもので397万9千円を増額し、補正後の予算総額を3,954万9千円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第44号	介護保険特別会計補正予算（第1号）…過年度分の介護給付費等の精算による国庫支出金等の返還及び一般会計への繰り出し金を増額するもので4,980万9千円を増額し、補正後の予算総額を16億448万4千円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議 案 第45号	水道事業会計補正予算（第2号）…職員の異動に伴う人件費等について増額するもので28万4千円を増額し、補正後の予算総額を4億3,606万1千円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報 告 第3号	債権放棄の報告…令和6年度中に放棄した町の債権について、債権管理条例第8条の規定により報告するもの。	報 告	報告事項のため採決はありません													
認 定 第1号	一般会計決算の認定…一般会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第2号	国民健康保険特別会計決算の認定…国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第3号	後期高齢者医療特別会計決算の認定…後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第4号	食肉センター特別会計決算の認定…食肉センター特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第5号	訪問看護ステーション特別会計決算の認定…訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第6号	介護保険特別会計決算の認定…介護保険特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第7号	水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定…水道事業会計剰余金の処分及び歳入歳出決算を認定に付するもの。	原案可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認 定 第8号	病院事業会計決算の認定…病院事業会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—





一般質問は、議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。

議員が住民の代表として、町政をチェックし、住民の声を反映させる役割を担っています。

## 議会の録画中継は インターネットで

スマホ、タブレット、パソコン  
から見るができます。

一般質問のQRコードから  
各議員の質問部分を  
ご覧いただけます。



本紙に掲載している内容は、要約を  
広報編集委員が校正したものです。

# 町の考えを問う 一般質問

## 12月定例会の予定

一般質問は  
12月16日（火）

.....

議会は傍聴できます



やまざき  
**山崎 ひろみ** 議員

# 高齢者の肺炎予防

- ワクチン費用の助成
- 子育て、教育の町

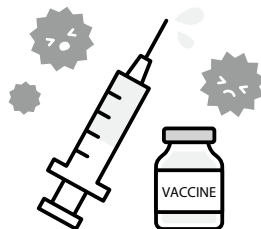


↑録画中継はこちらから

## RSウイルス 感染症

乳幼児の呼吸器感染症ウイルスとして知られる一方、高齢者や基礎疾患のある方等は重症化するリスクが高いとされる。

小児のRSウイルス感染症の予防に係る母子免疫ワクチンについては、厚生労働省予防接種基本方針部会において、定期接種化に向けて議論されている。



**問** 肺炎球菌ワクチンは有効であるとの調査結果が出ている。当町の接種率は低い数値にあると思われるが、肺炎球菌ワクチン接種についての周知方法を伺う。

**健康福祉課長** 国の示す高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種は、令和6年4月より65歳の方のみを対象としており、町では、助成対象者へ個別に通知を出しています。

65歳を過ぎても費用助成を受けられる旨は、ホームページで周知していますが、年度初めの広報4月号に掲載するなど、改めて情報発信していきたいと考えます。

**問** RSウイルス感染症は、肺炎を引き起こすリスクが高いとされているが、RSウイルスワクチン接種費用の助成をする考えはあるか。

**健康福祉課長** 本町におけるRSウイルスワクチンの接種費用助成については、今後、国や近隣市町の動向に注視し、検討していきたいと考えます。

**問** 町内保育園の入所状況と将来性についてどのように考えるか。また、年度途中での入園希望者が、町内保育園に入所できない現状について、見解を伺う。

**健康福祉課長** 町内保育園の入所状況は、令和7年8月1日現在、笹川中央保育園は定員90名に対し83名、橘保育園は定員60名に対し52名、神代保育園は定員50名に対し38名で、合計173名が町内保育園に入所しています。0歳児を除く1歳児から4歳児までの入所対象児童の約8割が保育園を利用している状況です。

5年先の将来推計として、人口は減少傾向ですが、保育園への入所希望者は、ほぼ変わらないものと見込まれます。

8月1日現在、途中入所と保育士の勤務状況の変動により0歳児の受け入れができない状況となっています。厚生労働省の基準では、0歳児の子ども3人につき保育士1名の配

置が必要とされています。保育士の配置改善などを行う事で、受け入れができないか、随時保育園と連携を図っていきたいと考えます。

**問** 子育て支援施設を集約して、多世代の親子が交流できる場にすべきと考えるが、町の見解は。

**健康福祉課長** 子育て支援施設ですが、町児童館と子育て支援センターは分散していますが、それぞれの施設利用で情報交換がされており、乳幼児期は子育て支援センターで、一人歩きができるようになってからは児童館とすみ分けができていくように感じられます。1カ所での多世代交流は難しい状況ですが、子育て中の保護者の方々へ情報発信を続けていきたいと考えています。

**問** 不登校児童生徒の現状と対策から「保護者の会」を設置すべきと考えるが、見解を伺う。

**教育課長** 東庄町において、不登校に関する保護者支援の仕組みとして、「保護者の会」という名称で設置はしていません。町教育委員会は、様々な教育相談の機会を設けて保護者の悩みや相談を受ける体制を整えています。また、東庄町こども家庭センターなど福祉分野とも連携しながら、保護者の相談体制の充実を図っています。

# 東庄町で一緒に住もう

- 移住定住支援を知る
- 空き家・空き地バンク



←録画中継はこちらから



まえだ きみえ  
前田 君江 議員

**問** 三代目ファミリー定住支援について。

**まちづくり課長** 東庄町の三代目ファミリー定住支援事業は、三代目が同居する世帯を対象に、200万円以上の新築、増築、リフォーム等の工事費に対し20万円の定額補助を行う事業ですが、今年度から、新築住宅については、三代目という枠組みを外し、町内に定住の意思を持って住宅を取得した方に対して補助を行う「東庄町住宅取得補助金事業」に移行しています。

また、令和8年度以降となりますが、住宅の増築又はリフォームに対しても新たな制度へのリニューアルを検討しています。こちらも三代目という枠組みを外し、定住を目的とした制度にしたいと考えています。



**問** 空き家・空き地バンクについて。

**総務課長** 東庄町の空き家・空き地バンクは、平成28年4月から事業を行っています。利用登録者数は現在98名で、これまでの契約件数は30件

です。

登録物件は主に所有者本人からの申請となっており、物件金額は、物件登録者の希望額を掲載しています。物件に修繕が必要な場合、所有者は購入者に費用負担を求めることが多いので、現地をよく見て判断していただくようにしています。なお、契約については、所有者の希望により、仲介業者が入るケースと入らないケースがあります。

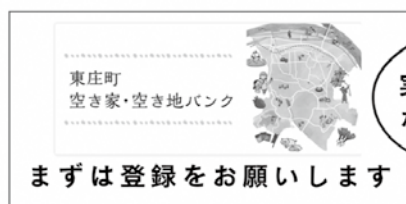
定住等の補助金はそれぞれの条件により該当になる場合とならない場合があります。

**問** 移住定住施策の課題として、定住を支援する補助金担当と

空き家・空き地バンクの担当部署が異なることで、それぞれが抱える課題や問題の解決が鈍くなることはないか。

**総務課長** 役場内の連携については、申請時に他部署で取り扱う補助金についても伝えるとともに、関係課とも情報の共有を図り、補助金の申請漏れなど、申請者に不利益が生じないようにしています。

また、固定資産税の納税通知を発送する際に空き家・空き地バンクの紹介を同封したり、研修会に他部署合同で参加するなどして、移住定住と空き家・空き地バンクを連動して進めていけるように努めています。



「空き家・空き地バンク」をご利用ください

お問い合わせはこちら ▶ 総務課企画係 ☎0478-86-6084



わたなべ ゆきえ  
渡邊 幸江 議員

# 命を守る防災無線放送

- 防災情報のデジタル化
- 防災組織と災害時のボランティア



↑録画中継はこちらから

**問** 防災無線も防災ラジオも聞き取りにくい地域への対応策はあるか。

**総務課長** 防災無線や防災ラジオが聞き取りにくい場合、役場に電話でお問い合わせいただき、放送内容をお伝えすることで対応しています。

また、災害発生時の緊急速報として、東庄町全域の携帯電話やスマートフォン全てに一斉送信できるエリアメールを実施しています。防災メールの重要性を周知し、登録者の増加を図っていきたいと思います。

スマートフォンやパソコンの操作が難しいという方も、メールやホームページを確認できるようにしておくことは、命を守る上で重要と考えます。

**問** 災害時における行政の各主体の役割とは。

**総務課長** 災害対策本部の組織編成は、町長を本部長として、総務部、まちづくり部、町民福祉部、教育部、消防部により構成されます。

総務部は、災害対策本部の運営を担当し、災害情報の収集・伝達、会議の開催など本部機能の中心的役割を担います。

まちづくり部は、道路、河川、

建築物等の被害状況の確認、応急復旧の手配、土木関係機関との連絡調整などを担当します。

町民福祉部は避難所の運営、災害時の健康管理、災害廃棄物の処理などを行い、住民の安心・安全な避難生活を支えます。

教育部は、学校施設の被害状況確認と安全確保、児童生徒の安否確認、教育活動再開に向けた調整などを行います。

消防部は、消火・救急活動、危険物への対応など災害現場の最前線で人命救助にあたります。

**問** 自主防災組織の自助・共助の取り組み方について。

**総務課長** 町では、区長さんを中心とした各区を自主防災組織として位置づけており、町民が主体となって災害に備え、被害を最小限に抑えるための団体として位置づけています。

町は、自主防災組織がより機能的に活動できるように、各区の防災計画のひな形を、まちづくり会議において各区に配布し、自助・共助の促進を図っています。

**問** 災害時のボランティア体制について。

**総務課長** 災害時は、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置した段階から、ボランティアの受け入れや登録を開始します。

活動については、専門分野か一般分野か、団体か個人かにより、活動していただく形となります。

また、ボランティア活動については、自己完結が基本となっています。近くの方、遠方の方にかかわらず、食事や宿泊、交通手段等については、ご自身で確保できる個人や団体について協力をお願いすることとなります。

## スマホ教室

スマホの基本操作、カメラや地図などのスマホの活用方法を携帯ショップのスタッフが教えます。



わからないところは、質問コーナーで丁寧に対応します。

**日時** 12月10日（水）

**場所** 役場1階 会議室2

**参加費** 無料（先着10名）

**お問い合わせ**

総務課DX推進係

☎0478-86-6087

### 東 庄町総合計画後期基本計画にある交通安全対策施設とは。 長島愛菜議員

総務課庶務係長 交通安全対策施設は、道路を使う人や車が安全に通行できるように設けられる施設や設備のことで、道路標識や信号機などが含まれます。

**再質問** ガードレールが曲がっているのを見つけた時はどこに連絡したらよいか。

ガードレールは道路の管理の担当によりますので、役場へお問い合わせください。

### 祖 父母世代が健康でいるため、町の取り組みは。 押山紗楽議員

健康福祉課保健衛生係長 各種のがん検診や予防接種の助成を実施したり、脳活教室や出前講座などの健康教育を行っています。

**再質問** 脳活教室はどのようなことをしているのか。中学生に手伝えることはあるか。

健康を保つ一番の秘訣は笑うことです。地域の方と笑顔であいさつをお願いします。



## 中学生議会

### 東庄中2年生が一般質問を体験

中学生が議員役となり、議会や町政について学ぶ模擬議会が10月10日に開かれました。

議員は2年生の各クラスから選ばれた10名で、1名が議長を務め9名が一般質問を行いました。一般質問は、登壇と自席からの再質問が行われ、発展した質疑が行われました。執行部は課長補佐や係長が答弁し、議員以外の2年生は議場で傍聴を体験しました。

### 農 業の後継者不足は改善されているのか。 林湊叶議員

まちづくり課農政係長 各種補助事業や相談を行っています。新たに農業を始める方はあまり増えないと予想されます。一方、大規模に耕作する農家さんは増えてきています。

**再質問** 中学生が農業にふれることができるイベントは。

農業関係のイベントとして、こかぶの収穫体験等を行っています。

### 町 のCO2削減の取り組みは。

嶋田悠花議員

町民課生活環境係長 脱炭素化の住宅用設備等を導入する方に補助金を交付しています。また、町の各施設や防犯灯のLED照明への切替を行っています。

**再質問** 小中学校のLED化は、いつ完了するのか。

教育課長補佐 小中学校のLED化は、順次行っていく予定です。

### 町 の文化や伝統をどのようにつなげているか。 宮澤彩愛議員

教育課長補佐 小学生を対象とした放課後子ども教室において郷土芸能教室を設けています。

**再質問** 東氏について、より詳しく知る方法は。

東氏については、今年は町制70周年を記念し歴史シンポジウムを2回開催し、来年3月に3回目を予定しています。是非ご参加ください。

### 休 日に中学校のグラウンドやテニスコートの開放はできないか。

久保木昴雅議員

教育課長補佐 個人での利用はできませんが、所属する地域クラブ等から町教育委員会に登録申請書を提出し、登録いただければ、学校施設を利用することが可能です。

**中** 学校のインターネット環境の改善や、より良い性能をもつタブレット導入の計画は。

磯山詩央議員

教育課長補佐 今年度、小中学校の校内ネットワークの問題点を把握するため、業者に調査を委託しています。導入から5年が経過した現在のタブレットは更新する予定です。

**再質問** 来年度からどのようなタブレットが使用できるか。

令和8年4月から新しいタブレットで授業ができるように、より良い性能のタブレット812台の準備を進めています。

## 地域課題を突く質問に町議員も関心

町議会議員は、中学生議会の様子を議員控室のモニターで傍聴しました。

議員からは「再質問があり、良かった」「本物の議会以上に緊張感が感じられた」「ぜひ町議会も傍聴に来てほしい」などの感想や東庄町の議会活動に更に関心を持ってほしいといった声がありました。



とても緊張しましたが、よい経験になりました。町についていろいろ知ることができ、東庄町が好きになりました。中学生議会の経験を、今後の学習に活かしていきたいと思います。

藤井遥音議長

**若** い人が魅力に感じる施設など東庄町の活性化を図るための取り組みについて。 沢口颯希議員

総務課企画係長 商業施設を新たに作る計画は現在ありませんが、旧東城小学校を活用した「東庄町ドローンパーク」でのドローン活用や、旧石出小学校での「オンラア未来会議」による地域交流の場作りの支援などを行っています。

**再質問** 地域おこし協力隊とはどのような制度か。

「地域おこし協力隊」は、都市地域から移住者を募集し、地域活性化活動を行うものです。現在東庄町では3名が従事しています。

**障** 害者が暮らしやすいまちづくりについて。点字ブロックの整備は。

石井柊議員

健康福祉課長補佐 地方部では都市部に比べて点字ブロックの整備が進んでいないのが現状です。限られた財源の中で工夫した整備を心掛けていきます。

**再質問** 就労継続支援A型事業所やB型事業所について。

就労継続支援B型事業所は、笹川なずな工房が1カ所あります。A型は設置されていません。



▲平山茂代表監査委員

▲後列 佐久間義房議員、高木武男議員、大網正敏議員  
前列 (故)城之内一男議員(妻・典子氏) 板寺正範議長、鈴木正昭議員

# 町制施行70周年 記念式典表彰

また、平成7年から4期にわたる町議会議員として町政に尽力され、現在は町代表監査委員を務める平山茂氏は、監査委員として15年以上にわたり公平公正な監査と地方自治の進展に寄与された功績により、自治功労表彰を受賞しました。

鈴木正昭議員が受賞者を代表して謝辞を行い、「町と議会、町民が一体となって、困難を乗り越え、活力あるまちづくりに期待する」と述べ、町の更なる発展を祈念しました。

東庄町町制施行70周年記念式典が11月16日に開催され、町議会議員として11年以上在職され、地方自治の発展と振興に尽力された町議会議員5名と(故)城之内一男議員、前議員花香孝彦氏が表彰されました。

## 中学生、高校生も加わり 学校づくりを熟議

国・県の職員が見学

東庄町学校運営協議会 10月5日



▲文部科学省職員(前列中央、後列右から3番目)、市野会長(前列右)、文教福祉常任委員7名

東庄町学校運営協議会が8月2日に千葉県教育会館で取組事例を発表する予定だった「地域とともにある学校づくり推進フォーラム2025千葉」は、残念ながら台風で中止になりました。

その後、フォーラムの主催者である文部科学省から、東庄町の取り組みの様子を是非見たいという申し出があり、文部科学省、国立教育政策研究所の志々田総括研究官を筆頭に、他4名の文部科学省職員と千葉県教育庁より8名の方をお招きして、学校運営協議会(コミュニティースクール)が開催されました。

### 若い世代の意見に新たな気づき

今回は、「2040年の東庄を考える」をテーマに、中学生、高校生、専門学校生、大学生、新社会人の参加者も加え、総勢50名で熱気に満ちた熟議を展開しました。若い世代からは「東庄の良さは感じているし地域愛もあるが、町のコミュニティに参加する機会が高校生くらいから少なくなる」などの意見があり、気づかれる点も多く、多世代間での交流が大切だと感じました。

報告 前田 君江

議員研修 1 日目は、群馬県の移住先として人気の高い「花と湯の町なかのじょう」で研修を行いました。

中之条町では、専属の「移住・定住コーディネーター」の役割が非常に重要だと感じました。コーディネーターには、移住者の希望や求めていることと移住先の地域コミュニティとが合うかどうかを見極める眼力が必要ですが、中之条町には適任者がおり活躍しています。

また、移住にあたり仕事があることが重要になりますが、観光要素がある中之条町では、雇用先、町内で起業する方への支援、新規就農者支援事業が充実していると感じました。

研修報告 佐久間義房

## 関係人口を増やし 地域と移住者つなぐ取組 群馬県中之条町



▲人を呼び込む施策や地域の人と訪れる人を繋ぐ取り組みについて、中之条町役場で説明を受ける議員。

# 気軽に人が集う場所をつくる

先進地を視察

9月29日～30日 議会議員研修

## 官民連携「よこらぼ」 埼玉県横瀬町



▲旧JAを活用した官民連携施設の「Area 898」は有志が協力して改装したオープンスペース。名前の由来は898（ヤクバ）と役場をかけたもの。



▲子どもの居場所となっている2階。木製の内装や備品は、施設内の工房で地元産の合板で製作している。

議員研修 2 日目は、埼玉県横瀬町にて官民連携の「よこらぼ」とグリーンインフラについてお話を聴きました。

武甲山を望む自然豊かなまち、横瀬町の人口は7,800人程で、抱えている問題はわが町とかなり近いものがありました。「このままではいけない」という危機感を持ち、官民連携しながら、数々の挑戦を繰り返す町です。

### アイデアの実現を応援する場所を提供

町内外問わず、意見やアイデアを取り入れ、実際に社会実装に結び付けていくという「よこらぼ」は、町長肝いりで8年～9年の歳月をかけ、軌道にのせたということでした。町職員と議会の両輪が大事だということもお話も説得力がありました。

また、印象に強く残ったのは、先頭に立つ職員の方の「熱意」です。熱量と同時に快活さを感じ、大変ながらも楽しみつつ仕事をされていることがはっきりと伝わりました。ただ、プロジェクト始動直後は、思ったように他の職員の方がのってきてくれなかったということで、その苦労もうかがえました。

やはり、事を動かすには根気と時間が必要だと思い知らされました。境遇が近いからこそ共感も多く、東庄町も負けてはいられない、という刺激を頂きました。研修して終わり、ではなく、しっかりとまちづくりに活かせるように議員一同、切磋琢磨しなければ…と身の引き締まる2日目となりました。

研修報告 岩井 弘晃

# 議会活動日誌

## 【議長・議員が出席した主な行事】

### 8月

- 19日 東庄町介護保険運営協議会
- 22日 議会全員協議会
  - 〃 香取郡市町議会議員研修大会
- 28日 香取広域市町村圏事務組合決算審査、例月出納検査
- 29日 東庄町地域活性化事業審査会



▲高齢者いきいきレクリエーション

### 9月

- 2日 議会運営委員会
- 9日 本会議
- 10日 本会議
- 11日 予算決算常任委員会
- 12日 予算決算常任委員会
- 16日 予算決算常任委員会
- 18日 東庄ふれあいまつり実行委員会
- 19日 本会議
  - 〃 全員協議会
- 25日 金婚米寿をお祝いする会
- 27日 東庄町歴史シンポジウム
- 29日 議会議員行政視察研修(群馬県中之条町)
- 30日 議会議員行政視察研修(埼玉県横瀬町)

### 10月

- 2日 東庄小体育館空調設備設置事業者選定公募型プロポーザル審査委員会
- 5日 東庄町学校運営協議会
- 7日 東庄町社会教育委員会議兼公民館運営審議会及び東庄町図書館協議会
- 10日 中学生模擬議会傍聴
- 12日 東庄スポーツフェスタ
  - 〃 高齢者いきいきレクリエーション
- 18日 こじゅりんこども園運動会
  - 〃 東大社秋季例祭
  - 〃 神崎町町村合併70周年記念式典
- 22日 香取広域市町村圏事務組合議会 議会運営委員会
  - 〃 〃 全員協議会
  - 〃 〃 本会議
- 23日 東庄中学校文化祭
- 27日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
  - 〃 広報編集委員会
- 28日 東総広域水道企業団議会定例会

### 11月

- 1日 旭市20周年記念式典
- 3日 東庄ふれあいまつり 東庄町文化祭
- 7日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 12日 町村議会議長全国大会
- 16日 東庄町町制施行70周年記念式典

## 編集後記

初冬のころ 東庄町恒例の11月3日のふれあいまつりも例年通り雨に見舞われることもなく、大勢の来場者の皆様のお陰でかくも盛大に行われ、ふれあいと言う名に相応しい一日となりました。

このような穏やかな日も過ぎ寒さが身に染みる日々に、ふと気付くと5月に鉢から外して無造作に植えた小菊が真っ赤に色づき、立派に成長してくれています。もっと丁寧に植えてあげれば良かったと今更ながら反省をして、来年は株分けをして増やしてあげることにします。何事も、先を見据えて今を考えることは大事ですね。

自然の生命力に感謝しながら、ふと、結果良ければ全てよし、石橋を叩きながら渡るのもよし、失敗して学ぶのもよし、様々な形の様々な色の花があるように、人の生き方も色々でいいんじゃないかな、お花も人も同じなんじゃないかなと、垣根際の真っ赤な小菊に問いかけてみました。

### 議会広報編集委員

委員長 柳 堀 忠  
 委員長 越 川 良  
 委員 岩 井 弘  
 委員 前 田 晃  
 委員 渡 邊 幸  
 委員 海 宝 和 宏

渡邊 幸江